



発行:社会福祉法人この指とまれ

# この指新聞

《法人本部・デイグループほっと・グループホームりずむ・りずむショートステイ》

東京都東大和市清水3丁目785番地2

Tel 042-564-2883 Fax 042-564-2873

メール konoyubi\_tomare@knd.biglobe.ne.jp

東京都東大和市清水3丁目784-10 メゾン大和A-2

Tel 042-563-9682 Fax 042-843-9270

## ～社会福祉法人になりました～

平成27年2月10日、「社会福祉法人この指とまれ」が設立されました(写真は、右から東大和市福祉部長と鈴木です)。

平成27年3月31日に特定非営利活動法人障害児・者支援ぐるーぷ「この指とまれ」は解散し、7月31日清算・閉鎖登記をしました。そして、残余財産の約300万円を、寄附として社会福祉法人この指とまれが受け取りました。

平成27年4月から各事業は「社会福祉法人この指とまれ」の事業として名称を改め(社会福祉法人の名称「この指とまれ」以外の名にしなければならぬため)、新たなスタートを踏み出しました。



### <ホームページを開設しました>

「社会福祉法人この指とまれ」のホームページができました。

法人の理念、沿革、「この指とまれ」に関する様々な情報がアップされていますので、ぜひご覧になってください。

URL:[http://www1a.biglobe.ne.jp/konoyubi\\_tomare/](http://www1a.biglobe.ne.jp/konoyubi_tomare/)

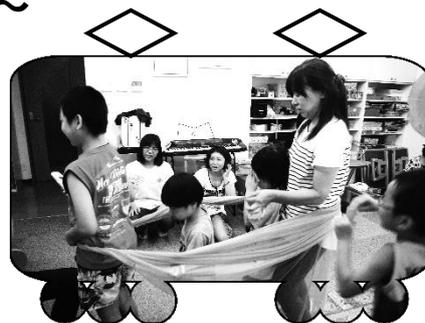


## ～各部門からの報告～

### ☆デイグループほっと☆放課後等デイサービス事業

「デイグループほっと」には現在、小学1年生から高等部3年生までの子どもたち、総勢24名が元気に通ってきてくれています。

新年度から、小学1年生の男児3名(羽村特別支援学校2名、九小わかば学級1名)、小学5年生の女児



1名（三小なかよし学級）、小学6年生の女児1名（羽村特別支援学校）、中学1年生の男児1名（羽村特別支援学校）と、計6名のお子さんが新たに仲間に加わりました。

そんな「ほっと」は、いつも子どもたちの熱気でムンムン。スタッフによれば、部屋の温度が2～3度は高くなっているとのこと！

暑い夏休みが無事終わり、ほっとしています。毎日の様に高温注意情報が発表されていたため、熱中症の危険があり、外出がなかなか出来ず、過ごし方に苦労しました。安全に遊べる涼しい場所を探しています。

### ☆グループホームりずむ☆りずむショートステイ☆共同生活援助事業・短期入所事業

ショートステイなどの体験を経て3名が入居し、8月より6部屋満室（男性2名、女性4名）になり新しい生活が始まっています。



10月には、山梨県の石和温泉に一泊旅行へ行きました。温泉やぶどう狩りなど、とても楽しい旅行になりました。



ショートステイの利用も、スタッフの体制が整っている利用可能な日は満室になっています。

### ☆ホームヘルプじょい☆居宅介護事業・移動支援事業

社会福祉法人への移行時に「介護保険」のサービスから撤退するなど、事業を縮小する事になりました。サービス提供責任者も1人体制となり、心機一転しスタートしました。新体制になり3か月くらいは大変でしたが、ようやく軌道にのってきました。

夏休みは移動支援が多く、全職員がフル回転しました。

ヘルパー不足で支援を断る事も多く、常に募集しています。是非、ご紹介下さい。

### ☆相談支援にじ☆指定特定相談事業・指定障害児相談支援事業

27年4月から、障害福祉サービスを利用する場合、相談支援事業所で計画相談を受けることが必要となっています。

今年度から開始した「相談支援にじ」では、相談支援専門員（鈴木・前橋）2名体制で相談を行っています。ご本人・ご家族の希望をお聞きし、福祉サービス利用案・計画を作成しております。

相談支援専門員2名が一緒に仕事をするのは、毎週火曜日です。なるべく火曜日に受け付け相談したいのですが、他の日も適宜受け付けています。どうぞ「にじ」をご利用ください。

**以下二事業は、賛助団体「NPO法人リサイクルショップらら」の補助を受け運営**

### ☆さんなくらぶ☆青年活動（高校生以上）

登録者の親の会が主催して、登録者自身の希望を取り入れて調理実習や外出活動をしています。皆マイペースで参加しています。

申し込み制のため毎回の参加希望人数にばらつきがあり、ヘルパーが足りずに希望される方が全員出席できない場合や、登録ヘルパーの方の勤務を保障出来ない場合など、ご迷惑おかけする事もあります、ご理解とご協力をお願いいたします。

### ☆個別音楽療法☆

それぞれの個性に合わせて楽しく行っています。参加希望の方全員の希望に応えるのは難しいですが、ご興味のある方は一度ご相談下さい。

## ～TOPICS～

### **福祉祭への参加をやめ、同日「らら」を臨時開店**

毎年11月に市役所スペースで実施されている「東大和市福祉祭」ですが、今年は市役所の耐震工事のために別の会場（中小企業大学校）での開催となります。

「NPO法人リサイクルショップらら」にご協力いただいて毎年参加を続けてきましたが、今年は「参加費がかかる」「荷物を運ぶ車を駐車できない」など不都合が多いため、残念ながら参加を取りやめることとしました。

しかし、福祉祭参加のために用意していたリサイクル品が大量にあるので、福祉祭当日（11月8日(日)）に「リサイクルショップらら」を臨時開店し、大幅値引きでの販売を行うことを予定しています。

今年も皆様のご協力をお願いいたします！！

### **新しい建物の建築・移転計画について**

#### <何故建築・移転が必要なのか>

「ホームヘルプじょい」と「相談支援にじ」の事業拠点として借りているメゾン大和は、長期の契約（社会福祉法人の事業所としては10年以上の契約が望ましい）を結ぶ事が難しく、加えて東大和市からは「出来れば法人所有の建物内での事業を」と言われています。

また放課後等デイサービス事業では、定員いっぱいでも利用をお断りする事が多くなっています。特に、現在の部屋は身体障害を重複している方へ対応できる設計の部屋であるにも関わらず、「利用人数が多く危険」という理由で受け入れられない状況が続いています。新しい部屋が必要です。

#### <建築計画案>

法人所有の建物を新築し、手狭になっている放課後等デイサービス事業を1階に新設し、「ホームヘルプじょい」「相談支援にじ」の2事業と法人本部事務所を2階に引

っ越す、という計画案を考えました。

これにより、法人所有の建物ですべての事業を行うことができます。また、放課後等デイサービス事業所をもう一か所増やす事により、現在のデイの部屋に重複障害の方々を受け入れられるようになります。

#### <計画経緯>

そのような状況から、新たに事業所とする場所を探していた所、現在の法人本部から徒歩1分の土地の持ち主の方が「土地を貸しても良い」と言って下さいました。

法人としては、7月11日の理事会・評議員会で計画案が承認され、8月8日に土地所有者からの正式なお返事をいただき、金融関係・建築関係との話し合いを進めて来ました。

しかし、今年度は社会福祉法人になってから1年目で決算が出ていない事などの理由で、低金利で貸してくれる独立行政法人福祉医療機構(WAM)から融資が付かず、**建築案は来年度以降へ見送りとなりました。**

10月2日の理事会・評議員会で、土地を確保しておく為に地主さんと法人と借地の「仮契約」(合意書)を結び、とりあえず**駐車場として3台分借りるという案**が承認されました。地主さんも10月12日この案を了承いただきました。

10月18日には地主さんと契約を結び、12月から駐車場として借りる予定です。

#### <今後の課題>

計画を進めていた矢先、東大和市からは予算が付かない事を理由に、放課後等デイサービス新設は難しいという話がありました。

東大和市内の2つの事業所合わせても、一日当たりの定員が20人しかない(他市はもっと多い)事や、重複障害児の放課後等デイサービス利用を進める必要性を訴えるため、署名運動にまで広げようと、10月2日の理事会・評議員会で提案されました。今後検討していきます。

社会福祉法人として、より一層事業を充実させていきたいと願っています。

### 寄附金のお願い

事業を拡充するために、皆様のご協力が必要です。また、社会福祉法人が税金控除対象の社会福祉法人となるには、年間3000円以上の寄附者が100人以上必要であり、現在、少し足りていません。事業にご賛同いただける方は、ご協力いただくと幸いです。

<振り込み先> 郵便振替口座 00100-9-387225 社会福祉法人この指とまれ

#### 編集後記

NPO法人の時に出していた機関紙に代わるものとして、「この指新聞」第1号がやってきました。新しい建物の建築計画が二転三転していますが、現在進行形です。ご支援のほど、よろしく願います。(S)